

東洋紡株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、東洋紡株式会社（以下「本法人」）が発行する第44回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023年3月9日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本法人は、SPTsを①2026年度における売上高対比GHG排出原単位削減率（基準年度である2020年度比）：28.5%、②2026年度におけるCDPスコア（気候変動対応）「A-」以上とし、いずれも未達の場合、社債発行額の0.1%相当額の排出権（CO2削減価値をクレジット・証書化したもの）を購入し、不可抗力事項等が生じ、排出権の購入ができない場合は、適格寄付先（環境保全活動を目的とする公益社団法人、公益財団法人、国際機関、自治体認定NPO法人、地方自治体やそれに準じた組織）へ寄付を実施いたします。なお、①のみ未達の場合、社債発行額の0.07%相当額を、②のみ未達の場合、社債発行額の0.03%相当額とします。

また、本法人は、本債券の発行にあたって、「サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク」を策定し、株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則2020」及び環境省が定めるサステナビリティ・リンク・ボンドガイドラインへの適合性について、セカンドオピニオンを取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上